

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第24回報告書

## 事例から学ぶ

# 検査値をもとに疑義照会や処方医への情報提供を行った事例 ＜クレアチニン／eGFR＞

### 【投与量】

#### ■事例の詳細

80歳代の患者に、整形外科から初めてタリージェ錠5mg 2錠分2が処方された。処方箋に記載された検査値を確認したところ、eGFRが41.6mL/min/1.73m<sup>2</sup>であり、中等度の腎機能の低下がみられた。初期用量としては多いと判断し、疑義照会を行った結果、タリージェ錠2.5mg 2錠分2へ変更になった。

#### ■推定される要因

処方医は、タリージェ錠が腎排泄性薬剤であることを認識していなかった可能性がある。

#### ■薬局での取り組み

今後も、検査値を確認し、処方内容の妥当性を判断したうえで調剤を行う。

タリージェ錠2.5mg/5mg/10mg/15mgの添付文書（一部抜粋）  
7. 用法及び用量に関連する注意

	腎機能障害の程度 (CLcr:mL/min)		
	軽度 (90>CLcr≥60)	中等度 (60>CLcr≥30)	重度 (血液透析患者を含む) (30>CLcr)
1日投与量	10～30mg	5～15mg	2.5mg～7.5mg
初期用量	1回5mg 1日2回	1回2.5mg 1日2回	1回2.5mg 1日1回

→この他にも事例が報告されています。

### 【投与量】

- ◆70歳代患者に、皮膚科から【般】セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg 3錠分3毎食後7日分が処方された。処方箋に記載された検査値を確認したところ、eGFRが44.5mL/min/1.73m<sup>2</sup>、クレアチンクリアランスが49.8mL/minであり、中等度の腎機能低下が見られた。腎機能別薬剤投与量POCKETBOOKを確認し、減量が望ましいと判断して疑義照会を行った結果、【般】セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg 2錠分2朝夕食後7日分に変更になった。

Ⅲ

【1】

【2】

検査値をもとに疑義照会や処方医への情報提供を行った事例

### 【患者の病態】

- ◆ 患者にアクトネル錠17.5mgが処方された。患者に検査値を確認したところ、eGFRが14.5mL/min/1.73m<sup>2</sup>であった。アクトネル錠17.5mgの添付文書には、クレアチンクリアランスが約30mL/min未満の高度な腎機能障害のある患者には禁忌と記載があるため、処方医に疑義照会を行った結果、アルファロールカプセル0.25μgへ変更になった。

### 【副作用の発現】

- ◆ 血糖値が高い患者にフォシーガ錠5mgが処方された。服用を始めてから2か月後、血糖値は改善されたが、患者から食欲不振と下痢が続くとの訴えがあった。患者が持参した血液検査の結果を確認したところ、腎機能が低下していることがわかった。フォシーガ錠5mgは、投与中に血清クレアチニン値の上昇またはeGFRの低下がみられることがあり、また、腎機能障害のある患者においては、脱水や糖尿病ケトアシドーシスの発現に注意する必要がある。念のため、処方医に問い合わせを行ったところ、ジャヌビア錠25mgへ変更になった。

### ポイント

- 腎排泄性薬剤を投与する際に患者の腎機能に応じて投与量を調節したり、より適切な薬剤を選択することにより、中毒性副作用だけでなく薬剤性腎障害も防ぐことが可能となる。
- 検査値が記載されている処方箋を応需した場合は、検査値から推測される患者の病態と処方薬との照合、処方薬の1日の投与量や投与間隔・期間の妥当性の判断、服薬による副作用発現の可能性の検討を行ったうえで調剤を行う必要がある。
- 処方箋に検査値が記載されていない場合は、患者から検査値を聴取することが望ましい。検査値を確認することが難しい場合でも、患者の症状や訴え、患者が医師から受けている指導内容や生活上の制限・留意点などから病態を推測し、薬学的考察を行うことが重要である。
- 腎機能に関する薬剤の情報を入手するには、薬剤の添付文書やインタビューフォームの他に、エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2018<sup>1)</sup>や腎機能別薬剤投与量POCKETBOOK第3版<sup>2)</sup>などを活用する。

1) 日本腎臓学会編集. <https://cdn.jsn.or.jp/data/CKD2018.pdf>

2) 日本腎臓病薬物療法学会 腎機能別薬剤投与方法一覧作成委員会／編.株式会社じほう. 2020年6月



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部  
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル 電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）  
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>